

授業科目名 (英文名)	情報処理基礎 (L) (Introduction to information Processing)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1 年次・前期
担当教員	上浦 尚武 新居 学 山添 大丈 阪井 祐太	所属	工学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>文書作成、データ処理の基本的な方法を習得する。その後、それらを用いた統計処理の理解を深める。同時に現在の情報化社会で必要不可欠なインターネットリテラシーなどのインターネットの使用上の注意を含め、情報科学の基本的な事柄に対する理解を深める。</p> <p>本講義の到達目標は、1) Windows系OS上で、Word, Excelが問題なく使用できること、2) 基本的なコンピュータの使用法を習得すること、3) インターネット使用上の注意事項を知ること、4) 統計処理の基本を習得すること、である。</p>		
講義内容・授業計画	<p>教育内容 現在の主流なオペレーティングシステムとしてWindows系とUNIX系がある。本講義ではWindows系のOSを使用して、まず情報科学のツールとしての文書作成とデータ処理を学習するためにWordとExcelの使用法を教育する。同時にインターネットリテラシーなどのインターネットの使用上の注意を含めて、コンピュータの基本的な使用方法に関する演習を行う。さらに、情報科学で必要不可欠な統計処理の基礎について教育する。最後にまとめとして統計処理の結果の発表会を行う。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容概要、計算機室の紹介、ログイン・ログアウト、メールの演習 2. インターネットセキュリティ講座、Word入門 3. Wordによる文書作成の基礎 4. Wordによる文書作成の応用 5. Excel入門 6. Excelによるデータ処理の概要 7. Excelによるデータ処理応用 1 8. Excelによるデータ処理応用 2 9. 統計学入門 10. 統計学 1 11. 統計学 2 12. 統計学 3 13. パワーポイントによる資料作成 14. まとめと発表1 15. まとめと発表2 		
テキスト	<p>学生のための情報リテラシー Office 2016/Windows 10版 若山芳三郎著 東京電機大学出版局 (生協で購入する)</p>		
参考文献	なし		
成績評価の基準・方法	<p>講義目的・到達目標に記載する事項について十分習得した者に単位を授与する。同事項に関する到達度に応じてSからCまで成績を与える。 発表50%、レポート50%を基準として、受講態度(積極的な質問等)を含めて総合的に評価する。なお、3回以上の欠席したものは、発表資格を失うものとする。</p>		
履修上の注意・履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・先修科目の記載：なし ・履修にあたっての心構え：実習を含むためその妨げになるような行為を一切慎むこと ・病欠の際は、証明書(診断書(原本)/診断書(コピー可)/病院の領収書)を必ず提出すること 		

	<p><新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業> 当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>
実践的教育	該当しない
備考	